

ひとりひとり自分らしく 個性と個性が生み出す調和 ハーモニー

市民活動課（内線357）

6月23日～29日は男女共同参画週間 「だれもがどれも選べる社会に」

「女の子なんだから、ランドセルはやっぱり赤色がいいわね」「男の子にはスポーツをやらせるべきだ」。このように、男女の違いから物事を分類していることはありませんか？これらは、性差に対して差別や偏見を持つこと（ジェンダーバイアス）に当たることがあります。

ジェンダーバイアスは、何が問題なのでしょう。それは、個人の能力や個性が生かされないことです。「理系＝男子」「保育士＝女性」などの先入観があると、自分の得意なことや適性に合う人生の選択が難しくなり、勉強や就業の機会を狭めてしまうほか、生きづらさを感じてしまうこともあります。

社会全体のジェンダーバイアスを解消するためには、私たち一人ひとりが思い込みや無意識に気づくことが大切です。普段の生活の中にもどのようなジェンダーがあるのか考えてみてはいかがでしょうか。

特技や個性を活かしてだれもが活躍できる—そんな社会を目指したいですね。

小さな一歩が大きなアクションに

今日から始めよう SDGs

政策推進課（内線514）

SDGs 達成には 女性のパワーも必要！



世界には、女の子が学校に行けなかったり、無理やり結婚させられたりする国があることをご存じですか。南アジアやアフリカの国々では、貧困や昔からの風習が原因で、女性に生まれたがゆえに行動が制限される問題が起きています。

また、日本では夫が育児や家事にける時間が先進国と比較して低い現実があり、男女の格差が起きています。

SDGsの目標5は「ジェンダー平等を実現しよう」です。この目標は性別に関わらず、平等に責任や権利、機会を分かち合い、あらゆる物事を一緒に決めていくことを意味し、SDGs全体の目標にとっても大きな役割を担うものです。女性が不公平に扱われることがあっては、ジェンダーの平等は実現しません。私たち一人ひとりが男女の不平等をなくすよう意識を変え、女性が政治や経済、公共分野での意思決定に参加していくことで、SDGs17のゴールの実現に近づけます。



撮影班 3年 岡崎 夏楓、杉沢 望来

土岐商写真部×広報とき 土岐の写真を撮り隊 Vol.13 土岐市の木

土岐市の木に指定されている「ヒトツバタゴ」別名「ナンジャモンジャ」を撮影しました！ヒトツバタゴは、降り積もった雪のような花が咲く木で、土岐市でも見頃を迎え、たくさんのヒトツバタゴが咲いていました。

今度は、土岐市の花「ききょう」も探してみたいです。

